



# パフォーマンス オブジェクト とパフォーマンス カウンタ

この付録では、パフォーマンス オブジェクトとそれに関連するカウンタの説明を含む完全なリストを示します。パフォーマンス オブジェクトとパフォーマンス カウンタは、Cisco CallManager にバンドルされたアプレット、Real-Time Monitoring Tool (RTMT)、および Microsoft Performance (PerfMon と呼ばれる) アプリケーションで使用されます。オブジェクトとカウンタの詳細については、[P.2-1](#) の「パフォーマンス オブジェクトとパフォーマンス カウンタ」および [P.12-1](#) の「Microsoft Performance」を参照してください。

次の各項では、Cisco CallManager Serviceability および Microsoft Performance で使用されるパフォーマンス オブジェクトとそれに関連するカウンタの説明を含む表を示します。

- [Cisco ACB Device \(P.C-3\)](#)
- [Cisco Analog Access \(P.C-4\)](#)
- [Cisco Annunciator Device \(P.C-5\)](#)
- [Cisco CallManager \(P.C-6\)](#)
- [Cisco CallManager System Performance \(P.C-15\)](#)
- [Cisco CTI Manager \(P.C-19\)](#)
- [Cisco Extension Mobility \(P.C-20\)](#)
- [Cisco Gatekeeper \(P.C-21\)](#)
- [Cisco H.323 \(P.C-22\)](#)
- [Cisco Hunt Lists \(P.C-23\)](#)

- Cisco HW Conference Bridge Device (P.C-25)
- Cisco IP Manager Assistant Service (P.C-26)
- Cisco Lines (P.C-27)
- Cisco Locations (P.C-28)
- Cisco Media Streaming Application (P.C-29)
- Cisco Messaging Interface (P.C-34)
- Cisco MGCP BRI Device (P.C-35)
- Cisco MGCP FXS Device (P.C-38)
- Cisco MGCP Gateways (P.C-39)
- Cisco MGCP PRI Device (P.C-40)
- Cisco MGCP T1 CAS Device (P.C-41)
- Cisco MOH Device (P.C-42)
- Cisco MTP Device (P.C-45)
- Cisco QSIG Features (P.C-47)
- Cisco SIP (P.C-48)
- Cisco SW Conf Bridge Device (P.C-49)
- Cisco TedSrv (P.C-50)
- Cisco TFTP Server (P.C-53)
- Cisco Transcode Device (P.C-56)
- Cisco Video Conference Bridge (P.C-57)
- Cisco WebDialer (P.C-58)
- 参考情報 (P.C-59)

## Cisco ACB Device

Cisco Application-Controlled Bridge (ACB) Device オブジェクトは、登録済み Cisco ACB デバイスについての情報を提供します。

表 C-1 Cisco ACB Device

カウンタ	カウンタの説明
ConferencesActive	ACB デバイスに対して現在アクティブな会議の数を表します。このカウンタは、最初のコールがブリッジに接続されたときではなく、アプリケーションが Cisco CallManager に会議の開始を要求したときに増加します。
ConferencesCompleted	ACB デバイスに割り当てられ、解放された会議の数を表します。会議は、アプリケーションが Cisco CallManager に会議の開始を要求したときに開始します。会議は、アプリケーションが Cisco CallManager に会議の終了を要求したときに完了します。
IVRSessionsActive	ACB デバイス上で現在アクティブな（使用中の）Interactive Voice Response (IVR; 対話式音声自動応答) セッションの数を表します。各 IVR セッションは 1 つのリソースを使用します。
IVRSessionsCompleted	ACB デバイスに割り当てられ、解放された（完了した）IVR セッションの数を表します。
ResourceActive	ACB デバイスに対して現在アクティブな（使用中の）リソースの数を表します。
ResourceAvailable	非アクティブで、現在の時点では ACB デバイスでまだ使用可能なリソースの数を表します。
ResourceReserved	ACB デバイスに対して予約済みリソースの数を表します。予約済みリソースとは、アプリケーションが進行中の特定の会議に割り当てられているリソースです。

表 C-1 Cisco ACB Device (続き)

カウンタ	カウンタの説明
ResourceTotal	ACB デバイスに対してに設定されているリソースの合計数を表します。リソースの合計数は、ResourceAvailable カウンタと ResourceReserved カウンタの合計数と同じです。

## Cisco Analog Access

Cisco Analog Access オブジェクトは、登録済み Cisco Analog Access ゲートウェイについての情報を提供します。

表 C-2 Cisco Analog Access

カウンタ	カウンタの説明
OutboundBusyAttempts	すべてのポートがビジーだったときに Cisco CallManager が Analog Access ゲートウェイを通過してコールを試みた回数の合計数を表します。
PortsActive	現在使用中の (アクティブな) ポート数を表します。ポート上でコールが進行中の場合、ポートはアクティブと見なされます。
PortsOutOfService	現在停止中のポートの数を表します。loop-start トランクおよび ground-start トランクに対してだけ適用されます。

## Cisco Annunciator Device

Cisco Annunciator Device オブジェクトは、登録済み Cisco Annunciator デバイスについての情報を提供します。

**表 C-3 Cisco Annunciator Device**

カウンタ	カウンタの説明
OutOfResources	Cisco CallManager が Annunciator デバイスからの Annunciator リソースの割り当てを試行して、すべてのリソースがすでに使用中であるなどの理由で失敗した回数の合計数を表します。
ResourceActive	Annunciator デバイスに対して現在アクティブな（使用中の）Annunciator リソースの合計数を表します。
ResourceAvailable	非アクティブで、現在の時点では Annunciator デバイスでまだ使用可能なリソースの合計数を表します。
ResourceTotal	Annunciator デバイスに対して設定されている Annunciator リソースの合計数を表します。

# Cisco CallManager

Cisco CallManager オブジェクトは、Cisco CallManager に登録されているコール、アプリケーション、およびデバイスについての情報を提供します。

表 C-4 Cisco CallManager

カウンタ	カウンタの説明
ACBConferencesActive	Cisco CallManager に登録されているすべての ACB デバイス上のアクティブな会議の合計数を表します。このカウンタは、最初のコールがブリッジに接続されたときではなく、アプリケーションが Cisco CallManager に会議の開始を要求したときに増加します。
ACBConferenceCompleted	Cisco CallManager に登録されているすべての ACB デバイスに割り当てられ、解放された会議の合計数を表します。会議は、アプリケーションが Cisco CallManager に会議の開始を要求したときに開始します。会議は、アプリケーションが Cisco CallManager に会議の終了を要求したときに完了します。
ACBIVRSessionsActive	Cisco CallManager に登録されているすべての ACB デバイス上のアクティブな（使用中の）IVR セッションの合計数を表します。
ACBIVRSessionsCompleted	すべての ACB デバイスに割り当てられ、解放された（完了した）IVR セッションの合計数を表します。IVR セッションとは、参加者が定例会議に参加する前の、一時的な、通話者が 1 名の会議です。
ACBResourceActive	Cisco CallManager に登録されているすべての ACB デバイス上で現在アクティブな（使用中の）リソースの合計数を表します。
ACBResourceAvailable	Cisco CallManager に登録されているすべての ACB デバイス上に割り当てられていて使用可能な、現在は未使用のリソースの合計数を表します。
ACBResourceReserved	Cisco CallManager に登録されているすべての ACB デバイス上で進行中のすべての会議に対して予約済みリソースの合計数を表します。予約済みリソースとは、アプリケーションが進行中の特定の会議に割り当てられているリソースです。カウンタ ACBResourceReserved および ACBResourceAvailable の合計は、ACBResourceTotal カウンタの値と等しい値です。

表 C-4 Cisco CallManager (続き)

カウンタ	カウンタの説明
ACBResourceTotal	Cisco CallManager に登録されているすべての ACB デバイスから提供されたリソースの合計数を表します。リソースの合計数は、ACBResourceAvailable カウンタと ACBResourceReserved カウンタの合計数と等しい数です。
AnnunciatorOutOfResources	使用可能な Annunciator リソースがなかった場合に、Cisco CallManager に登録されている Annunciator リソースから、Cisco CallManager が割り当てを試行した回数の合計数を表します。
AnnunciatorResourceActive	Cisco CallManager に登録されているすべての Annunciator デバイス上で使用中の Annunciator リソースの合計数を表します。
AnnunciatorResourceAvailable	非アクティブで、現在使用可能な Annunciator リソースの合計数を表します。
AnnunciatorResourceTotal	Cisco CallManager に現在登録されているすべての Annunciator デバイスから提供されている Annunciator リソースの合計数を表します。
AuthenticatedCallsActive	Cisco CallManager 上で現在アクティブな（使用中の）認証済みコール数を表します。認証済みコールとは、コールに関係するすべてのエンドポイントが認証されているコールです。認証済み電話機は、Transport Layer Security (TLS) 認証された Skinny プロトコル シグナリングを Cisco CallManager で使用します。
AuthenticatedCallsCompleted	Cisco CallManager 経由で接続し、その後接続解除された認証済みコール数を表します。認証済みコールとは、コールに関係するすべてのエンドポイントが認証されているコールです。認証済み電話機は、TLS 認証された Skinny プロトコル シグナリングを Cisco CallManager で使用します。
AuthenticatedRegisteredPhones	Cisco CallManager に登録されている認証済み電話機の合計数を表します。認証済み電話機は、TLS 認証された Skinny プロトコル シグナリングを Cisco CallManager で使用します。
BRIChannelsActive	この Cisco CallManager 上でアクティブなコールの BRI 音声チャネルの数を表します。
BRIspansInService	現在使用可能な BRI スパンの数を表します。

表 C-4 Cisco CallManager (続き)

カウンタ	カウンタの説明
CallForwardByRerouteCompleted	再ルーティングの発生により成功した自動転送の数を表します。再ルーティングによる自動転送は、コールが使用する B チャネルの数を最小にし、発信元の観点からコールを最適化します。このカウンタは、Cisco CallManager サービス パラメータ Forward by Reroute Enabled を有効または無効にしたとき、または Cisco CallManager サービスを再始動したときにリセットされます。
CallManagerHeartBeat	Cisco CallManager のハートビートを表します。この増分カウントは、Cisco CallManager が稼働中であることを示します。カウントが増分されない場合は、Cisco CallManager がダウンしていることを示します。
CallsActive	現在使用中の (アクティブな) 音声ストリーミング接続またはビデオストリーミング接続の数、つまり、実際に Cisco CallManager に接続されている音声パスが実際に存在するコール数を表します。
CallsAttempted	試行されたコールの合計数を表します。試行されたコールは、電話がオフフックになるとき、およびオンフックに戻るときに常に発生します。どの番号がダイヤルされたか、宛先に接続されたかどうかには関係ありません。機能操作中 (転送や会議など) にコールが試行されると、試行されたコールとみなされる場合があります。
CallsCompleted	Cisco CallManager を介して実際に接続された (音声パスまたはビデオストリームが確立された) コール数を表します。この数は、コールが終了したときに増加します。
CallsInProgress	Cisco CallManager 上で現在進行中の音声コールまたはビデオコールの数を表します。すべてのアクティブコールが含まれます。電話がオフフックになると、この操作はオンフックに戻るまで進行中のコールを作成します。進行中のすべての音声コールまたはビデオコールが接続されたときに、CallsInProgress の数は CallsActive の数と等しくなります。
FXOPortsActive	Cisco CallManager 上で現在使用中の (アクティブな) FXO ポートの数を表します。
FXOPortsInService	システムで現在使用可能な FXO ポートの数を表します。

表 C-4 Cisco CallManager (続き)

カウンタ	カウンタの説明
FXSPortsActive	Cisco CallManager 上で現在使用中の (アクティブな) FXS ポートの数を表します。
FXSPortsInService	システムで現在使用可能な FXS ポートの数を表します。
HuntListsInService	Cisco CallManager で現在動作中のハン ト リストの数を表します。
HWConferenceActive	Cisco CallManager に現在登録されているすべてのハードウェア Conference Bridge デバイスから提供されているハードウェア会議リソースの合計数を表します。
HWConferenceCompleted	Cisco CallManager から割り当てられたハードウェア Conference Bridge (Cisco Catalyst 6000、Cisco Catalyst 4000、Cisco VG200、Cisco シリーズ 26xx、36xx などのハードウェアベースの会議デバイス) を使用して完了した会議の合計数を表します。つまり、Conference Bridge は割り当てられて、解放されています。会議は、最初のコールがブリッジに接続されたときにアクティブになります。会議は、最後のコールがブリッジから接続解除されたときに完了します。
HWConferenceOutOfResources	使用可能なハードウェア会議リソースがなかった場合に、Cisco CallManager に登録されているハードウェア会議リソースから、Cisco CallManager が割り当てを試行した回数の合計数を表します。
HWConferenceResourceActive	Cisco CallManager に登録されているすべてのハードウェア会議デバイス (Cisco Catalyst 6000、Catalyst 4000、Cisco VG200、Cisco シリーズ 26xx、36xx など) 上で使用中の会議リソースの合計数を表します。システムは、1 つまたは複数のコールがブリッジに接続されたときに、会議がアクティブであるとみなします。
HWConferenceResourceAvailable	Cisco CallManager に登録されているすべてのハードウェア会議デバイス (Cisco Catalyst 6000、Catalyst 4000、Cisco VG200、Cisco シリーズ 26xx、36xx など) に割り当て可能で未使用の会議リソースの合計数を表します。各会議リソースは、この Cisco CallManager 上で使用可能な 3 つの全二重方式ストリームが使用できることを表します。1 つのリソースは 1 つのストリームと同等です。
HWConferenceResourceTotal	Cisco CallManager に登録されているすべてのハードウェア会議デバイス上のアクティブな会議の合計数を表します。

表 C-4 Cisco CallManager (続き)

カウンタ	カウンタの説明
InitializationState	このカウンタは、Cisco CallManager 初期化の現在の状態を表します。次の値は、初期化の状態を指定します。1 (Database)、2 (Regions)、3 (Locations)、4 (Calling Search Space)、5 (Time Of Day)、6 (AAR Neighborhoods)、7 (Digit Analysis)、8 (Route Plan)、9 (Call Control)、10 (Supplementary Services)、11 (Directory)、12 (SDL Link)、13 (Device)、100 (Initialization Complete)。このカウンタでは、すべての状態は表示されません。これはエラーではありません。パフォーマンス モニタのリフレッシュ期間内に状態が処理され完了したことを単に示しています。
MOHTotalMulticastResources	Cisco CallManager に現在登録されているすべての MOH サーバから提供されているマルチキャスト MOH リソースまたはマルチキャスト MOH 接続の合計数を表します。
MOHMulticastResourceActive	Cisco CallManager に登録されているすべての MOH サーバで現在使用中の (アクティブな) マルチキャスト MOH リソースの合計数を表します。
MOHMulticastResourceAvailable	Cisco CallManager に登録されているすべての MOH サーバ上の使用されていないアクティブなマルチキャスト MOH 接続の合計数を表します。
MOHOutOfResources	Cisco CallManager に登録されているすべての MOH サーバ上で使用可能なすべてのリソースがすでにアクティブであった場合に、Media Resource Manager が MOH リソースの割り当てを試行した回数の合計数を表します。
MOHTotalUnicastResources	Cisco CallManager に現在登録されているすべての MOH サーバから提供されているユニキャスト MOH リソースまたはユニキャスト MOH ストリームの合計数を表します。各 MOH ユニキャスト リソースは、1 つのストリームを使用します。
MOHUnicastResourceActive	Cisco CallManager に登録されているすべての MOH サーバで現在使用中の (アクティブな) ユニキャスト MOH リソースの合計数を表します。各 MOH ユニキャスト リソースは、1 つのストリームを使用します。

表 C-4 Cisco CallManager (続き)

カウンタ	カウンタの説明
MOHUnicastResourceAvailable	Cisco CallManager に登録されているすべての MOH サーバで現在使用可能なユニキャスト MOH リソースの合計数を表します。各 MOH ユニキャスト リソースは、1つのストリームを使用します。
MTPOutOfResources	Cisco CallManager が Cisco CallManager に登録されている 1つの MTP デバイスから MTP リソースの割り当てを試行し失敗した回数の合計数を表します。これは、MTP として動作する使用可能なトランスコーダではなかったことも意味します。
MTPResourceActive	Cisco CallManager に登録されているすべての MTP デバイス上で現在使用中の (アクティブな) MTP リソースの合計数を表します。各 MTP リソースは、2つのストリームを使用します。使用中の MTP は、コールで使用するために割り当てられている 1つの MTP リソースを表します。
MTPResourceAvailable	Cisco CallManager に登録されているすべての MTP デバイス上に割り当てられていて使用可能な、現在は未使用の MTP リソースの合計数を表します。各 MTP リソースは、2つのストリームを使用します。使用中の MTP は、コールで使用するために割り当てられている 1つの MTP リソースを表します。
MTPResourceTotal	Cisco CallManager に現在登録されているすべての MTP デバイスから提供されているメディア終端点 (MTP) リソースの合計数を表します。
PRChannelsActive	この Cisco CallManager でアクティブなコールの PRI 音声チャンネルの数を表します。
PRISpansInService	現在使用可能な PRI スパンの数を表します。
RegisteredAnalogAccess	システムに登録されている、登録済み Cisco Analog Access ゲートウェイの数を表します。カウントには、Cisco Analog Access ポートの数は含まれません。
RegisteredHardwarePhones	現在システムに登録されている Cisco ハードウェア IP Phone (Cisco IP Phone 7960、7940、7910 などのモデル) の数を表します。
RegisteredMGCPGateway	現在システムに登録されている MGCP ゲートウェイの数を表します。

表 C-4 Cisco CallManager (続き)

カウンタ	カウンタの説明
RegisteredOtherStationDevices	現在システムに登録されている Cisco ハードウェア IP Phone 以外の端末デバイス (Cisco IP SoftPhone、CTI ポート、CTI ルート ポイント、Cisco ボイスメール ポートなど) の数を表します。
SWConferenceActive	Cisco CallManager に登録されているすべてのソフトウェア会議デバイス上のアクティブな会議の合計数を表します。
SWConferenceCompleted	Cisco CallManager から割り当てられたソフトウェア Conference Bridge を使用して完了した会議の合計数を表します。つまり、Conference Bridge は割り当てられて、解放されています。会議は、最初のコールがブリッジに接続されたときにアクティブになります。会議は、最後のコールがブリッジから接続解除されたときに完了します。
SWConferenceOutOfResources	使用可能なソフトウェア会議リソースがなかった場合に、Cisco CallManager に登録されているソフトウェア会議リソースから、Cisco CallManager が割り当てを試行した回数合計数を表します。カウンタには、新規の参加者を既存の会議に追加することに失敗した試行が含まれます。
SWConferenceResourceActive	Cisco CallManager に登録されているすべてのソフトウェア会議デバイス上で使用中の会議リソースの合計数を表します。システムは、1 つまたは複数のコールがブリッジに接続されたときに、会議がアクティブであるとみなします。
SWConferenceResourceAvailable	Cisco CallManager に対して同時に開始できる新規のソフトウェアベースの会議の数を表します。新規の各会議に対して最低 3 つのストリームが使用可能である必要があります。
SWConferenceResourceTotal	Cisco CallManager に現在登録されているすべてのソフトウェア Conference Bridge デバイスから提供されているソフトウェア会議リソースの合計数を表します。
SystemCallsAttempted	サーバから発信されたコールと Cisco Unity Message Waiting Indicator (MWI) 番号に試行されたコールの合計数を表します。
T1SpansInService	現在使用可能な T1 CAS スパンの数を表します。
T1ChannelsActive	この Cisco CallManager でアクティブなコールの T1 CAS 音声チャネルの数を表します。

表 C-4 Cisco CallManager (続き)

カウンタ	カウンタの説明
TranscoderOutOfResources	使用可能なトランスコーダ リソースがなかった場合に、Cisco CallManager に登録されているトランスコーダ デバイスから、Cisco CallManager が割り当てを試行した回数の合計数を表します。
TranscoderResourceActive	Cisco CallManager に登録されているすべてのトランスコーダ デバイス上で使用中のトランスコーダの合計数を表します。使用中のトランスコーダは、コールで使用するために割り当てられている1つのトランスコーダ リソースを表します。各トランスコーダ リソースは、2つのストリームを使用します。
TranscoderResourceAvailable	Cisco CallManager に登録されているすべてのトランスコーダ デバイス上に割り当てられていて使用可能な、現在は未使用のトランスコーダ リソースの合計数を表します。各トランスコーダ リソースは、2つのストリームを使用します。
TranscoderResourceTotal	Cisco CallManager に現在登録されているすべてのトランスコーダ デバイスから提供されているトランスコーダ リソースの合計数を表します。
VCBConferencesActive	Cisco CallManager に登録されているすべてのビデオ Conference Bridge デバイス上のアクティブなテレビ会議の合計数を表します。
VCBConferencesAvailable	Cisco CallManager に登録されているすべてのビデオ Conference Bridge デバイス上の新規のテレビ会議の合計数を表します。
VCBConferencesCompleted	Cisco CallManager から割り当てられたビデオ Conference Bridge を使用して完了したテレビ会議の合計数を表します。つまり、Conference Bridge は割り当てられて、解放されています。会議は、最初のコールがブリッジに接続されたときにアクティブになります。会議は、最後のコールがブリッジから接続解除されたときに完了します。
VCBConferencesTotal	Cisco CallManager に登録されているすべてのビデオ Conference Bridge デバイス上でサポートされているテレビ会議の合計数を表します。
VCBOutOfResources	失敗した新規のテレビ会議要求の合計数を表します。設定されている数の会議がすでに使用中であるなどの理由で、会議の要求が失敗する場合があります。

表 C-4 Cisco CallManager (続き)

カウンタ	カウンタの説明
VCBOutOfConferences	使用可能なテレビ会議リソースがなかった場合に、Cisco CallManager に登録されているテレビ会議リソースから、Cisco CallManager が割り当てを試行した回数の合計数を表します。
VCBResourceActive	Cisco CallManager に登録されているすべてのテレビ会議デバイス上で使用中のテレビ会議リソースの合計数を表します。
VCBResourceAvailable	非アクティブで、現在使用可能なテレビ会議リソースの合計数を表します。
VCBResourceTotal	Cisco CallManager に現在登録されているすべてのビデオ Conference Bridge デバイスにより提供されているテレビ会議リソースの合計数を表します。
VideoCallsActive	Cisco CallManager に登録されているすべてのビデオ Conference Bridge デバイス上のアクティブなビデオ ストリーミング接続を持つアクティブなビデオ コールの合計数を表します。
VideoCallsCompleted	ビデオ ストリームに実際に接続され、その後解放されたビデオ コールの数を表しています。
VideoOutOfResources	使用可能なビデオ ストリーミング リソースがなかった場合に、Cisco CallManager に登録されているビデオ Conference Bridge リソースのうち 1 つから、Cisco CallManager が割り当てを試行した回数の合計数を表します。

# Cisco CallManager System Performance

Cisco CallManager System Performance オブジェクトは、Cisco CallManager についてのシステム パフォーマンス情報を提供します。

表 C-5 Cisco CallManager System Performance

カウンタ	カウンタの説明
AverageExpectedDelay	着信メッセージを処理する前の、現在の平均予測遅延を表します。
CallsRejectedDueToCallThrottling	サービスの開始以後、コールスロットリングのため拒否されたコールの合計数を表します。
CallThrottlingGenericCounter1	コールスロットリングで使用される汎用カウンタを表します。
CallThrottlingGenericCounter2	コールスロットリングで使用される汎用カウンタを表します。
CallThrottlingGenericCounter3	コールスロットリングで使用される汎用カウンタを表します。
CodeRedEntryExit	Cisco CallManager が Code Red 状態（コールスロットリング モード）に入ったか、または Code Red 状態から出たかを表します。有効な値は、0 (Exit) および 1 (Entry) です。
CodeYellowEntryExit	Cisco CallManager が Code Yellow 状態（コールスロットリング モード）に入ったか、または Code Yellow 状態から出たかを表します。有効な値は、0 (Exit) および 1 (Entry) です。
EngineeringCounter1	Cisco Engineering Special ビルドによる指示がない限り、このカウンタは使用しないでください。シスコは、診断の目的でこのカウンタの情報を使用します。
EngineeringCounter2	Cisco Engineering Special ビルドによる指示がない限り、このカウンタは使用しないでください。シスコは、診断の目的でこのカウンタの情報を使用します。
EngineeringCounter3	Cisco Engineering Special ビルドによる指示がない限り、このカウンタは使用しないでください。シスコは、診断の目的でこのカウンタの情報を使用します。
EngineeringCounter4	Cisco Engineering Special ビルドによる指示がない限り、このカウンタは使用しないでください。シスコは、診断の目的でこのカウンタの情報を使用します。

表 C-5 Cisco CallManager System Performance (続き)

カウンタ	カウンタの説明
EngineeringCounter5	Cisco Engineering Special ビルドによる指示がない限り、このカウンタは使用しないでください。シスコは、診断の目的でこのカウンタの情報を使用します。
EngineeringCounter6	Cisco Engineering Special ビルドによる指示がない限り、このカウンタは使用しないでください。シスコは、診断の目的でこのカウンタの情報を使用します。
EngineeringCounter7	Cisco Engineering Special ビルドによる指示がない限り、このカウンタは使用しないでください。シスコは、診断の目的でこのカウンタの情報を使用します。
EngineeringCounter8	Cisco Engineering Special ビルドによる指示がない限り、このカウンタは使用しないでください。シスコは、診断の目的でこのカウンタの情報を使用します。
QueueSignalsPresent 1-High	Cisco CallManager キューの高優先順位信号の数を表します。高優先順位信号には、特に、タイムアウト イベント、内部 Cisco CallManager キープアライブ、特定のゲートキーパー イベント、内部プロセスの作成などのイベントが含まれています。多数の高優先順位イベントは、Cisco CallManager のパフォーマンスの低下をもたらし、コール接続の遅延やダイヤル トーンの消失の原因となります。このカウンタを QueueSignalsProcessed 1-High カウンタと併用して、Cisco CallManager 上の処理の遅延を判別します。
QueueSignalsPresent 2-Normal	Cisco CallManager キューの通常優先順位信号の数を表します。通常優先順位信号には、特に、コール処理機能、キーの押下、オンフックとオフフックの通知などのイベントが含まれています。多数の通常優先順位のイベントは、Cisco CallManager のパフォーマンスの低下をもたらし、ダイヤル トーンの遅延、コール接続の遅延、またはダイヤル トーンの消失の原因となる場合があります。このカウンタを QueueSignalsProcessed 2-Normal カウンタと併用して、Cisco CallManager 上の処理の遅延を判別します。高優先順位信号は通常優先順位信号が処理を開始する前に完了する必要があることに注意してください。したがって、高優先順位カウンタを確認し、遅延の可能性の正確な状況を取得してください。

表 C-5 Cisco CallManager System Performance (続き)

カウンタ	カウンタの説明
QueueSignalsPresent 3-Low	Cisco CallManager キューの低優先順位信号の数を表します。低優先順位信号には、特に、端末デバイスの登録（初期端末登録要求メッセージは除く）などのイベントが含まれています。このキュー内の多数の信号は、特に、デバイス登録遅延のイベントの原因となります。
QueueSignalsPresent 4-Lowest	Cisco CallManager キューの最低優先順位信号の数を表します。最低優先順位信号には、特に、デバイス登録中の初期端末登録要求メッセージなどのイベントが含まれています。このキュー内の多数の信号は、特に、デバイス登録遅延のイベントの原因となります。
QueueSignalsProcessed 1-High	Cisco CallManager によって 1 秒間隔で処理される最高優先順位信号の数を表します。このカウンタを QueueSignalsPresent 1-High カウンタと併用して、このキューの処理の遅延を判別します。
QueueSignalsProcessed 2-Normal	Cisco CallManager によって 1 秒間隔で処理される通常優先順位信号の数を表します。このカウンタを QueueSignalsPresent 2-Normal カウンタと併用して、このキューの処理の遅延を判別します。高優先順位信号は通常優先順位信号の前に処理されることに注意してください。
QueueSignalsProcessed 3-Low	Cisco CallManager によって 1 秒間隔で処理される低優先順位信号の数を表します。このカウンタを QueueSignalsPresent 3-Low カウンタと併用して、このキューの処理の遅延を判別します。処理される信号の数は、この時間間隔内でデバイス登録アクティビティが処理される量の指標となります。
QueueSignalsProcessed 4-Lowest	Cisco CallManager によって 1 秒間隔で処理される最低優先順位信号の数を表します。このカウンタを QueueSignalsPresent 4-Lowest カウンタと併用して、このキューの処理の遅延を判別します。処理される信号の数は、この時間間隔内で Cisco CallManager 登録処理を開始したデバイスの数の指標となります。
QueueSignalsProcessed Total	高、通常、低、最低のすべてのキュー レベルに対して、それぞれ 1 秒間に Cisco CallManager によって処理されるすべてのキュー信号の合計を提供します。

表 C-5 Cisco CallManager System Performance (続き)

カウンタ	カウンタの説明
SkinnyDevicesThrottled	スロットリングされる Skinny デバイスの合計数を表します。Skinny デバイスが生成したイベントの合計数が、設定されている最大しきい値 (デフォルト値は 2000 イベント) を 5 秒以内で超えたとき、Skinny デバイスはスロットリングされます (シャットダウンと再登録を求められます)。

## Cisco CTI Manager

Cisco CTI Manager オブジェクトは、Cisco CTI Manager についての情報を提供します。

**表 C-6 Cisco CTI Manager**

カウンタ	カウンタの説明
CcmLinkActive	アクティブな Cisco CallManager リンクの合計数を表します。CTI Manager は、クラスタ内のすべてのアクティブな Cisco CallManagers へのリンクを維持します。
CTIConnectionActive	現在 CTI Manager に接続されている CTI クライアントの合計数を表します。このカウンタは、新しい接続が確立されると 1 つ増加し、接続が解放されると 1 つ減少します。CTI Manager サービス パラメータ MaxCTIConnections は、アクティブな接続の最大数を決定します。
DevicesOpen	CTI アプリケーションが制御してモニタする Cisco CallManager に設定されているデバイスの合計数を表します。デバイスには、ハードウェア IP Phone、CTI ポート、CTI ルートポイントなどがあります。
LinesOpen	CTI アプリケーションを制御してモニタする Cisco CallManager に設定されている回線の合計数を表します。
QbeVersion	CTI Manager が使用する Quick Buffer Encoding (QBE) インターフェイスのバージョン番号を表します。

# Cisco Extension Mobility

Cisco Extension Mobility オブジェクトは、Extension Mobility アプリケーションについての情報を提供します。

表 C-7 Cisco Extension Mobility アプリケーション

カウンタ	カウンタの説明
RequestsHandled   <b>(注)</b> Cisco CallManager Release 4.0 以前は、Num. of requests handled と呼ばれていました。	Cisco CallManager サービスの最後の再起動以降に Extension Mobility が処理した HTTP 要求の合計数を表します。標準的なログインは、2つの HTTP 要求から構成されています。1つは、デバイスの初期ログイン状態へのクエリーです。もう1つは、デバイス上のユーザへのログインです。同様に、標準的なログアウトも2つの HTTP 要求になります。
RequestsInProgress   <b>(注)</b> Cisco CallManager Release 4.0 以前は、Current Sessions と呼ばれていました。	現在 Extension Mobility で処理されている HTTP 要求の数を表します。標準的なログインは、2つの HTTP 要求から構成されています。1つは、デバイスの初期ログイン状態へのクエリーです。もう1つは、デバイス上のユーザへのログインです。同様に、標準的なログアウトも2つの HTTP 要求になります。

# Cisco Gatekeeper

Cisco Gatekeeper オブジェクトは、登録済み Cisco ゲートキーパー デバイスについての情報を提供します。

**表 C-8 Cisco Gatekeeper**

カウンタ	カウンタの説明
ACFsReceived	設定済みゲートキーパーとその代替ゲートキーパーから受信した RAS Admission Confirm メッセージの合計数を表します。
ARQsAttempted	設定済みゲートキーパーとその代替ゲートキーパーを使用して試行した RAS Admission Request メッセージの合計数を表します。
RasRetries	設定済みゲートキーパーとその代替ゲートキーパー上のすべての RAS 確認応答メッセージの消失や遅延によるリトライ回数を表します。
VideoOutOfResources	帯域幅の不足などが原因で失敗した、設定済みゲートキーパーまたはその代替ゲートキーパーへのビデオストリーム要求の合計数を表します。

## Cisco H.323

Cisco H.323 オブジェクトは、登録済み Cisco H.323 デバイスについての情報を提供します。

表 C-9 Cisco H.323

カウンタ	カウンタの説明
CallsActive	設定済み H.323 デバイス上で現在アクティブな（使用中）のストリーミング接続の数、つまり、接続されている音声パスが実際に存在するコールの数を表します。
CallsAttempted	デバイス上で試行されたコールの合計数を表します。成功したコールの試行と失敗したコールの試行の両方が含まれます。
CallsCompleted	デバイスから発信され、成功したコールの合計数を表します。
CallsInProgress	デバイス上で現在進行中のコール数を表します。
VideoCallsActive	Cisco CallManager に登録されているすべての H.323 トランク上で現在アクティブな（使用中）ビデオストリーミング接続を持つビデオ コール数、つまり、Cisco CallManager 上にビデオストリーミング接続が実際に存在するコール数を表します。
VideoCallsCompleted	Cisco CallManager に登録されているすべての H.323 トランクに対するビデオ ストリームに実際に接続されたビデオ コールの数を表します。この数は、コールが終了したときに増加します。

## Cisco Hunt Lists

Cisco Hunt Lists オブジェクトは、Cisco CallManager Administration で定義されているハント リストについての情報を提供します。

表 C-10 Cisco Hunt Lists

カウンタ	カウンタの説明
CallsAbandoned	ハント リストを介して発生し、放棄されたコールの数を表します。放棄されたコールとは、コールに応答する前に発信者がハングアップするコールです。
CallsActive	ハント リストを介して発生する現在アクティブな (使用中の) コール数を表します。アクティブ コールとは、配布され、応答された、音声パスが接続されているコールです。
CallsBusyAttempts	回線グループとルート グループのすべてのメンバーがビジーであるときに、ハント リストを介して試行されたコールの回数を表します。
CallsInProgress	ハント リストを介して現在進行中のコール数を表します。進行中のコールとは、Call Distributor が回線グループまたはルート グループのメンバーへの拡張を試行していて、まだ応答されていないコールです。ハント リスト メンバーの例としては、回線、端末デバイス、トランク デバイス、トランク デバイスのポートやチャネルがあります。
CallsRingNoAnswer	ハント リストを介したコールで、呼び出しに着信側が応答しなかったコールの合計数を表します。

表 C-10 Cisco Hunt Lists (続き)

カウンタ	カウンタの説明
HuntListInService	特定のハント リストが現在動作中であるかどうかを指定します。値 0 は、ハント リストが停止中であることを示します。値 1 は、ハント リストが動作中であることを示します。ハント リストが Cisco CallManager Group に基づくプライマリ Cisco CallManager 上で動作していないため、またはハント リストが Cisco CallManager Administration で使用不可にされているため、ハント リストが停止中である可能性があります。
MembersAvailable	動作中のハント リストに属している回線グループとルートグループの、使用可能なメンバーまたはアイドルメンバーの合計数を表します。使用可能なメンバーは、コールを現在処理していて、新規のコールを受け入れます。アイドルメンバーは、コールは何も処理していないで、新しいコールを受信します。ハント リストメンバーは、ルートグループ、回線グループ、または組み合わせから構成できます。回線グループのメンバーとは、IP Phone またはボイスメール ポートの回線の電話番号です。ルートグループのメンバーとは、端末ゲートウェイ、トランクゲートウェイ、またはトランクゲートウェイのポートやチャンネルです。

## Cisco HW Conference Bridge Device

Cisco HW Conference Bridge Device オブジェクトは、登録済み Cisco ハードウェア Conference Bridge デバイスについての情報を提供します。



(注)

HWConferenceActiveParticipants カウンタは削除されました。

表 C-11 Cisco HW Conference Bridge Device

カウンタ	カウンタの説明
HWConferenceActive	HW Conference Bridge デバイス上で現在アクティブな（使用中の）会議の数を表します。
HWConferenceCompleted	HW 会議デバイス上に割り当てられ、解放された会議の合計数を表します。会議は、最初のコールがブリッジに接続されたときに開始します。会議は、最後のコールがブリッジから接続解除されたときに完了します。
OutOfResources	HW 会議デバイスから会議リソースの割り当てを試行して、すべてのリソースがすでに使用中であるなどの理由で失敗した回数の合計数を表します。
ResourceActive	HW 会議デバイスに対して現在使用中の（アクティブな）リソースの数を表します。
ResourceAvailable	非アクティブで、HW 会議デバイスで現在まだ使用可能なリソースの合計数を表します。
ResourceTotal	HW Conference Bridge デバイス用リソースの合計数を表します。ResourceAvailable カウンタと ResourceActive カウンタの合計数と等しい数です。

# Cisco IP Manager Assistant Service

Cisco IP Manager Assistant (IPMA) Service オブジェクトは、Cisco IP Manager Assistant アプリケーションについての情報を提供します。

表 C-12 Cisco IP Manager Assistant Service

カウンタ	カウンタの説明
AssistantsActive  <b>(注)</b> 以前は Assistants active と呼ばれていました。	現在アクティブなアシスタント コンソールの数を表します。アクティブなアシスタント コンソールは、アシスタントが自分のアシスタント コンソールのデスクトップ アプリケーションからログインする場合に存在します。
LinesOpen  <b>(注)</b> 以前は Num. of lines open と呼ばれていました。	Cisco IPMA アプリケーションが開いた電話回線の数を表します。開いている電話回線は、IPMA アプリケーションが CTI からの回線制御を前提としている場合に存在します。
ManagersActive  <b>(注)</b> 以前は Managers active と呼ばれていました。	Cisco IPMA がサービスを行っているマネージャの現在の数を表します。
SessionsCurrent  <b>(注)</b> 以前は Current session と呼ばれていました。	現在 Cisco IPMA アプリケーションを使用しているマネージャ アシスタントの合計数を表します。各マネージャと各アシスタントは、アクティブ セッションを構成します。したがって、1 組のマネージャとアシスタントに対して、このカウンタは 2 つのセッションを反映します。

## Cisco Lines

Cisco Lines オブジェクトは、ダイヤルしてデバイスに接続できる Cisco 回線（電話番号）の数を表します。回線は、エンドポイントで終了するすべての電話番号を表します。割り当てられた電話番号は、回線を識別します。Cisco Lines オブジェクトには、Digital Access ゲートウェイまたは Analog Access ゲートウェイのパターンなどのワイルドカードを含む電話番号は含まれていません。

**表 C-13 Cisco Lines**

カウンタ	カウンタの説明
Active	回線の状態、アクティブまたは非アクティブのいずれかを表します。0 は、回線が未使用であることを示します。数値が 0 より大きい場合は、回線がアクティブであることを示しています。数値はその回線で現在進行中のコール数を表します。複数のコールがアクティブである場合は、明確に保留状態に置かれている（ユーザ保留）、またはネットワーク保留操作（たとえば、転送が進行中でその転送が保留状態）のいずれかの理由で、コールが保留状態であることが示されます。これは、任意のデバイスに割り当てられるすべての電話番号に適用されます。

## Cisco Locations

Cisco Location オブジェクトは、Cisco CallManager に定義されている場所についての情報を提供します。

**表 C-14 Cisco Locations**

カウンタ	カウンタの説明
BandwidthAvailable	特定の場所の現在の帯域幅を表します。値 0 は、使用できる帯域幅がないことを示します。
BandwidthMaximum	特定の場所で使用可能な最大帯域幅を表します。値 0 は、使用可能な帯域幅が無限であることを示します。
CallsInProgress	特定の Cisco CallManager 上で現在進行中のコール数を表示します。
OutOfResources	その場所を経由した特定の Cisco CallManager 上のコールが帯域幅の不足のため失敗した回数の合計数を表示します。
VideoBandwidthAvailable	テレビ会議の開始者がいる場所にあるビデオが現在使用可能な帯域幅を表します。値 0 は、使用できる帯域幅がないことを示します。
VideoBandwidthMaximum	テレビ会議の開始者がいる場所にあるビデオが使用可能な最大帯域幅を表します。値 0 は、ビデオに割り当てられている帯域幅がないことを示します。
VideoOutOfResources	テレビ会議を開始した人がいる場所で失敗したビデオストリーム要求（帯域幅の不足などが原因）の合計数を表示します。

# Cisco Media Streaming Application

Cisco Media Streaming Application オブジェクトは、登録済みの MTP、MOH サーバ、Conference Bridge サーバ、および Annunciator についての情報を提供します。



(注)

デバイス プールに関連付けられている Cisco CallManager グループの各 Cisco CallManager に対して 1 つのオブジェクトがあります。Annunciator デバイスはそのデバイス プールを使用するように設定されています。

表 C-15 Cisco Media Streaming Application

カウンタ	カウンタの説明
ANNConnectionsLost	Cisco IP Voice Media Streaming Application を最後に再起動してから Cisco CallManager 接続が失われた回数の合計数を表します。
ANNConnectionState	Annunciator に関連付けられている各 Cisco CallManager に対して、Cisco CallManager への現在の登録状態を表します。0 は、Cisco CallManager への登録がないことを示します。1 はプライマリ Cisco CallManager への登録を示します。2 は、セカンダリ Cisco CallManager への接続を示します (Cisco CallManager には接続されていますが、プライマリ Cisco CallManager 接続が失敗するまでは登録されません)。
ANNConnectionsTotal	Cisco IP Voice Media Streaming Application サービスの開始以降に開始された Annunciator インスタンスの合計数を表します。
ANNInstancesActive	アクティブに再生している (現在使用中の) アナウンスの数を表します。
ANNStreamsActive	すべての接続に対して現在アクティブなシンプレックス (単方向) ストリームの合計数を表します。各ストリームの方向は、1 つのストリームとしてカウントします。オーディオ入力を提供する内部ストリームが 1 つあります。また、エンドポイント デバイスへの出力ストリームが別にあります。

表 C-15 Cisco Media Streaming Application (続き)

カウンタ	カウンタの説明
ANNStreamsAvailable	使用可能な Annunciator デバイスに対して割り当てられているストリームの残りの数を表します。このカウンタは、設定されている接続の数 (Cisco IP Voice Media Streaming App サービス パラメータで Annunciator、Call Count に対して定義されている) の 2 倍の数で開始します。アクティブなストリームが開始されるたびに 1 つずつ減少します。
ANNStreamsTotal	Cisco IP Voice Media Streaming Application サービスの開始以降に Annunciator デバイスに接続されたシンプレックス (単方向) ストリームの合計数を表します。
CFBConferencesActive	アクティブな (現在使用中の) 会議の数を表します。
CFBConferencesTotal	Cisco IP Voice Media Streaming Application サービスの開始以降に開始された会議の合計数を表します。
CFBConnectionsLost	Cisco IP Voice Media Streaming Application を最後に再起動してから Cisco CallManager 接続が失われた回数の合計数を表します。
CFBConnectionState	SW Conference Bridge に関連付けられている各 Cisco CallManager に対して、Cisco CallManager への現在の登録状態を表します。0 は、Cisco CallManager への登録がないことを示します。1 はプライマリ Cisco CallManager への登録を示します。2 は、セカンダリ Cisco CallManager への接続を示します (Cisco CallManager には接続されていますが、プライマリ Cisco CallManager 接続が失敗するまでは登録されません)。
CFBStreamsActive	すべての会議に対して現在アクティブなシンプレックス (単方向) ストリームの合計数を表します。各ストリームの方向は、1 つのストリームとしてカウントします。通話者が 3 名の会議では、アクティブなストリームの数は 6 です。
CFBStreamsAvailable	使用可能な Conference Bridge に対して割り当てられている Conference Bridge の残りの数を表します。このカウンタは、設定されている接続の数 (Cisco IP Voice Media Streaming App サービス パラメータで Conference Bridge、Call Count に対して定義されている) の 2 倍の数で開始します。アクティブなストリームが開始されるたびに 1 つずつ減少します。
CFBStreamsTotal	Cisco IP Voice Media Streaming Application サービスの開始以降に Conference Bridge に接続されたシンプレックス (単方向) ストリームの合計数を表します。

表 C-15 Cisco Media Streaming Application (続き)

カウンタ	カウンタの説明
MOHAudioSourcesActive	<p>この MOH サーバ用のアクティブな (現在使用中の) オーディオ ソースを表します。受信しているデバイスが存在しない場合は、オーディオ ソースの一部がアクティブなストリーミング オーディオ データでない場合もあります。例外はマルチキャスト オーディオ ソースです。常にストリーミング オーディオとなります。</p> <p> (注) このカウンタの現在の動作では、オーディオ ソースが使用中の場合、受信側が切断された後でも、設定済み各 MOH コーデック用の入力ストリームがこのカウンタに常に 1 つあります。ユニキャスト ストリームでは、デバイスが接続しストリームを受信するまでは、受信するオーディオ データがなく、ストリームがサスペンド状態である場合があります。各 MOH マルチキャスト リソースは、オーディオ ソースとコーデックそれぞれの組み合わせに対して 1 つのストリームを使用します。たとえば、マルチキャスト、G.711 mu-law、ワイドバンド コーデックに対してデフォルト オーディオ ソースを設定した場合、2 つのストリーム (デフォルト オーディオ ソース と G.711 mu-law、およびデフォルト オーディオ ソースとワイドバンド) が使用されます。</p>
MOHConnectionsLost	Cisco IP Voice Media Streaming Application を最後に再起動してから Cisco CallManager 接続が失われた回数の合計数を表します。
MOHConnectionState	MOH に関連付けられている各 Cisco CallManager に対して、Cisco CallManager への現在の登録状態を表します。0 は、Cisco CallManager への登録がないことを示します。1 はプライマリ Cisco CallManager への登録を示します。2 は、セカンダリ Cisco CallManager への接続を示します (Cisco CallManager には接続されていますが、プライマリ Cisco CallManager 接続が失敗するまでは登録されません)。

表 C-15 Cisco Media Streaming Application (続き)

カウンタ	カウンタの説明
MOHStreamsActive	<p>すべての接続に対してアクティブな (現在使用中の) シンプレックス (単方向) ストリームの合計数を表します。ユニキャスト オーディオ ソースを受信している各デバイスに対して 1 つの出力ストリームがあります。また、各アクティブ オーディオ ソースに対して 1 つの入力ストリームがあります。MOH コーデックの数で乗算されます。</p> <p> <b>(注)</b> このカウンタの現在の動作では、オーディオ ソースがいったん使用された後は、設定済み各 MOH コーデック用の入力ストリームがこのカウンタに常に 1 つあります。ユニキャスト ストリームでは、デバイスが接続しストリームを受信するまでは、受信するオーディオ データがなく、ストリームがサスペンド状態である場合があります。各 MOH マルチキャスト リソースは、オーディオ ソースとコーデックそれぞれの組み合わせに対して 1 つのストリームを使用します。たとえば、マルチキャスト、G.711 mu-law、ワイドバンド コーデックに対してデフォルト オーディオ ソースを設定した場合、2 つのストリーム (デフォルト オーディオ ソースと G.711 mu-law、およびデフォルト オーディオ ソースとワイドバンド) が使用されます。</p>
MOHStreamsAvailable	<p>使用可能な MOH デバイスに対して割り当てられているストリームの残りの数を表します。このカウンタは、408 に、設定済み二重ユニキャスト接続数を加えた数で開始し、アクティブ ストリームが開始されるたびに 1 つずつ減少します。カウンタは、各マルチキャスト オーディオ ソースに対して 2 つずつ減少します。設定済み MOH コーデックの数で乗算されます。カウンタは、各ユニキャスト オーディオ ソースに対して 1 つずつ減少します。設定済み MOH コーデックの数で乗算されます。</p>
MOHStreamsTotal	<p>Cisco IP Voice Media Streaming Application サービスの開始以降に MOH サーバに接続されたシンプレックス (単方向) ストリームの合計数を表します。</p>
MTPConnectionsLost	<p>Cisco IP Voice Media Streaming Application を最後に再起動してから Cisco CallManager 接続が失われた回数の合計数を表します。</p>

表 C-15 Cisco Media Streaming Application (続き)

カウンタ	カウンタの説明
MTPConnectionState	MTP に関連付けられている各 Cisco CallManager に対して、Cisco CallManager への現在の登録状態を表します。0 は、Cisco CallManager への登録がないことを示します。1 はプライマリ Cisco CallManager への登録を示します。2 は、セカンダリ Cisco CallManager への接続を示します (Cisco CallManager には接続されていますが、プライマリ Cisco CallManager 接続が失敗するまでは登録されません)。
MTPConnectionsTotal	Cisco IP Voice Media Streaming Application サービスの開始以降に開始された MTP インスタンスの合計数を表します。
MTPInstancesActive	アクティブな (現在使用中の) MTP のインスタンスの数を表します。
MTPStreamsActive	すべての接続に対して現在アクティブなシンプレックス (単方向) ストリームの合計数を表します。各ストリームの方向は、1 つのストリームとしてカウントします。
MTPStreamsAvailable	使用可能な MTP デバイスに対して割り当てられているストリームの残りの数を表します。このカウンタは、設定されている接続の数 (Cisco IP Voice Media Streaming App サービス パラメータで MTP、Call Count に対して定義されている) の 2 倍の数で開始します。アクティブなストリームが開始されるたびに 1 つずつ減少します。
MTPStreamsTotal	Cisco IP Voice Media Streaming Application サービスの開始以降に MTP デバイスに接続されたシンプレックス (単方向) ストリームの合計数を表します。

## Cisco Messaging Interface

Cisco Messaging Interface オブジェクトは、Cisco Messaging Interface (CMI) サービスについての情報を提供します。

**表 C-16 Cisco Messaging Interface**

カウンタ	カウンタの説明
HeartBeat	CMI サービスのハートビートを表します。この増分カウントは、CMI サービスが稼働中であることを示します。カウントが増加（増分）しない場合は、CMI サービスがダウンしていることを意味しています。
SMDIMessageCountInbound	CMI サービスを最後に再起動してからの、着信 SMDI メッセージの実行中のカウントを表します。
SMDIMessageCountInbound24Hour	最後の 24 時間以内の着信 SMDI メッセージのローリングカウントを表します。
SMDIMessageCountOutbound	CMI サービスを最後に再起動してからの、発信 SMDI メッセージの実行中のカウントを表します。
SMDIMessageCountOutbound24Hour	最後の 24 時間以内の発信 SMDI メッセージのローリングカウントを表します。
StartTime	CMI サービスが開始された時間をミリ秒単位で表します。コンピュータ内のリアルタイム クロックは、現在の時刻と経過した時間の長さをミリ秒単位で示す参照ポイントとして単に動作します。開始されたサービスでこの時刻の基準が提供されるためです。参照ポイントは、1970 年 1 月 1 日の午前 0 時を指定しています。

## Cisco MGCP BRI Device

Cisco Media Gateway Control Protocol (MGCP) Basic Rate Interface (BRI) Device オブジェクトは、登録済み Cisco MGCP BRI デバイスについての情報を提供します。

表 C-17 Cisco MGCP BRI Device

カウンタ	カウンタの説明
Channel 1 Status	MGCP BRI デバイスに関連付けられている、指定された B チャンネルの状態を表します。取りうる値は次のとおりです。0 (Unknown) は、チャンネルの状態を判別できなかったことを示します。1 (Out of service) は、このチャンネルが使用不可であることを示します。2 (Idle) は、このチャンネルにはアクティブなコールがなく、使用可能な状態であることを示します。3 (Busy) は、このチャンネル上のアクティブ コールを示します。4 (Reserved) は、このチャンネルが D チャンネルとして使用または BRI 用の Synch-Channel として使用するよう予約されていることを示します。
Channel 2 Status	MGCP BRI デバイスに関連付けられている、指定された B チャンネルの状態を表します。取りうる値は次のとおりです。0 (Unknown) は、チャンネルの状態を判別できなかったことを示します。1 (Out of service) は、このチャンネルが使用不可であることを示します。2 (Idle) は、このチャンネルにはアクティブなコールがなく、使用可能な状態であることを示します。3 (Busy) は、このチャンネル上のアクティブ コールを示します。4 (Reserved) は、このチャンネルが D チャンネルとして使用または BRI 用の Synch-Channel として使用するよう予約されていることを示します。
CallsCompleted	MGCP BRI デバイスから発信され、成功したコールの合計数を表します。

表 C-17 Cisco MGCP BRI Device (続き)

カウンタ	カウンタの説明
OutboundBusyAttempts	使用可能な音声チャンネルがない場合に、この MGCP BRI デバイスを介して試行されたコールの回数の合計数を表します。
DatalinkInService	対応する Digital Access 上の Data Link (D チャンネル) の状態を表します。Data Link がアップ (動作中) の場合は 1 に設定されます。Data Link がダウン (停止中) の場合は 0 に設定されます。

## Cisco MGCP FXO Device

Cisco Media Gateway Control Protocol (MGCP) Foreign Exchange Office (FXO) Device オブジェクトは、登録済み Cisco MGCP FXO デバイスについての情報を提供します。

**表 C-18 Cisco MGCP FXO Device**

カウンタ	カウンタの説明
CallsCompleted	MGCP FXO デバイス上のポートから発信され、成功したコールの合計数を表します。
OutboundBusyAttempts	使用可能な音声チャンネルがない場合に、この MGCP FXO デバイス上のポートを介して試行されたコールの回数の合計数を表します。
PortStatus	MGCP FXO デバイスに関連付けられている FXO ポートの状態を表します。

## Cisco MGCP FXS Device

Cisco MGCP Foreign Exchange Station (FXS) Device オブジェクトは、登録済み Cisco MGCP FXS デバイスについての情報を提供します。Cisco Catalyst 6000 24 port FXS Analog Interface Module ゲートウェイ上の各ポートに対して、このオブジェクトの 1 つのインスタンスが作成されます。たとえば、完全に設定された Catalyst 6000 Analog Interface Module の場合は、このオブジェクトの 24 に分かれたインスタンスを表します。

**表 C-19 Cisco MGCP FXS Device**

カウンタ	カウンタの説明
CallsCompleted	MGCP FXS デバイス上のこのポートから発信され、コールの合計数を表します。
OutboundBusyAttempts	使用可能な音声チャネルがない場合に、この MGCP FXS デバイス上のポートを介して試行されたコールの回数の合計数を表します。
PortStatus	MGCP FXS デバイスに関連付けられている FXS ポートの状態を表します。

## Cisco MGCP Gateways

Cisco MGCP Gateways オブジェクトは、登録済み MGCP ゲートウェイについての情報を提供します。

表 C-20 Cisco MGCP Gateways

カウンタ	カウンタの説明
BRISpansInService	ゲートウェイで現在使用可能な BRI スパンの数を表します。
BRISpansActive	ゲートウェイのコールで現在アクティブな BRI 音声チャンネルの数を表します。
FXOPortsActive	ゲートウェイのコールで現在アクティブな FXO ポートの数を表します。
FXOPortsInService	ゲートウェイで現在使用可能な FXO ポートの数を表します。
FXSPortsActive	ゲートウェイのコールで現在アクティブな FXS ポートの数を表します。
FXSPortsInService	ゲートウェイで現在使用可能な FXS ポートの数を表します。
PRIChannelsActive	ゲートウェイのコールで現在アクティブな PRI 音声チャンネルの数を表します。
PRIChannelsInService	ゲートウェイで現在使用可能な PRI スパンの数を表します。
T1ChannelsActive	ゲートウェイのコールで現在アクティブな T1 CAS 音声チャンネルの数を表します。
T1ChannelsInService	ゲートウェイで現在使用可能な T1 CAS スパンの数を表します。

## Cisco MGCP PRI Device

Cisco MGCP Primary Rate Interface (PRI) Device オブジェクトは、登録済み Cisco MGCP PRI デバイスについての情報を提供します。

表 C-21 Cisco MGCP PRI Device

カウンタ	カウンタの説明
CallsCompleted	MGCP PRI デバイスから発信され、成功したコールの合計数を表します。
Channel 1 Status ~ Channel 15 Status (連続した番号)	MGCP PRI デバイスに関連付けられている、指定された B チャネルの状態を表します。取りうる値は次のとおりです。0 (Unknown) は、チャネルの状態を判別できなかったことを示します。1 (Out of service) は、このチャネルが使用不可であることを示します。2 (Idle) は、このチャネルにはアクティブなコールがなく、使用可能な状態であることを示します。3 (Busy) は、このチャネルにアクティブ コールが存在することを示します。4 (Reserved) は、このチャネルが D チャネルとして使用または E-1 用の Synch-Channel として使用するよう予約されていることを示します。
Channel 16 Status	MGCP PRI デバイスに関連付けられている、指定された B チャネルの状態を表します。取りうる値は次のとおりです。0 (Unknown)、1 (Out of service)、2 (Idle)、3 (Busy)、4 (Reserved)、E1 PRI インターフェイスの場合、このチャネルは、D チャネルとして使用するよう予約されています。
Channel 17 Status ~ Channel 31 Status (連続した番号)	MGCP PRI デバイスに関連付けられている、指定された B チャネルの状態を表します。0 (Unknown)、1 (Out of service)、2 (Idle)、3 (Busy)、4 (Reserved)。
DatalinkInService	対応するデジタル アクセス ゲートウェイ上の Data Link (D チャネル) の状態を表します。この値は、Data Link がアップ (動作中) の場合は 1 に設定されます。Data Link がダウン (停止中) の場合は 0 に設定されます。
OutboundBusyAttempts	使用可能な音声チャネルがない場合に、この MGCP PRI デバイスを介して試行されたコールの回数の合計数を表します。

## Cisco MGCP T1 CAS Device

Cisco MGCP T1 Channel Associated Signaling (CAS) Device オブジェクトは、登録済み Cisco MGCP T1 CAS デバイスについての情報を提供します。

表 C-22 Cisco MGCP T1 CAS Device

カウンタ	カウンタの説明
CallsCompleted	この MGCP T1 CAS デバイスから発信され、成功したコールの合計数を表します。
Channel 1 Status ~ Channel 24 Status (連続した番号)	MGCP T1 CAS デバイスに関連付けられている、指定された B チャネルの状態を表します。取りうる値は次のとおりです。0 (Unknown) は、チャネルの状態を判別できなかったことを示します。1 (Out of service) は、このチャネルが使用不可であることを示します。2 (Idle) は、このチャネルにはアクティブなコールがなく、使用可能な状態であることを示します。3 (Busy) は、このチャネルにアクティブ コールが存在することを示します。4 (Reserved) は、このチャネルが D チャネルとして使用または E-1 用の Synch-Channel として使用するよう予約されていることを示します。
OutboundBusyAttempts	使用可能な音声チャネルがない場合に MGCP T1 CAS デバイスを介して試行されたコールの回数の合計数を表します。

## Cisco MOH Device

Cisco Music On Hold (MOH) Device オブジェクトは、登録済み Cisco MOH デバイスについての情報を提供します。

表 C-23 Cisco MOH Device

カウンタ	カウンタの説明
MOHMulticastResourceActive	<p>MOH サーバにより提供されるマルチキャスト アドレスへの、現在アクティブなマルチキャスト接続の数を表します。</p> <p> (注) 各 MOH マルチキャスト リソースは、オーディオ ソースとコーデックそれぞれの組み合わせに対して 1 つのストリームを使用します。たとえば、マルチキャスト、G.711 mu-law、ワイドバンド コーデックに対してデフォルト オーディオ ソースを設定した場合、2 つのストリーム (デフォルト オーディオ ソース と G.711 mu-law、およびデフォルト オーディオ ソースとワイドバンド) が使用されます。</p>
MOHMulticastResourceAvailable	<p>MOH サーバにより提供される、非アクティブで現在 MOH サーバで使用可能なマルチキャスト アドレスへの、マルチキャスト MOH 接続の数を表します。</p> <p> (注) 各 MOH マルチキャスト リソースは、オーディオ ソースとコーデックそれぞれの組み合わせに対して 1 つのストリームを使用します。たとえば、マルチキャスト、G.711 mu-law、ワイドバンド コーデックに対してデフォルト オーディオ ソースを設定した場合、2 つのストリーム (デフォルト オーディオ ソース と G.711 mu-law、およびデフォルト オーディオ ソースとワイドバンド) が使用されます。</p>

表 C-23 Cisco MOH Device (続き)

カウンタ	カウンタの説明
MOHTotalMulticastResources	<p>MOH サーバにより提供されるマルチキャスト アドレスに対して許可されている、マルチキャスト MOH 接続の合計数を表します。</p> <p> (注) 各 MOH マルチキャスト リソースは、オーディオ ソースとコーデックそれぞれの組み合わせに対して 1 つのストリームを使用します。たとえば、マルチキャスト、G.711 mu-law、ワイドバンド コーデックに対してデフォルトオーディオ ソースを設定した場合、2 つのストリーム (デフォルト オーディオ ソース と G.711 mu-law、およびデフォルト オーディオ ソースとワイドバンド) が使用されます。</p>
MOHTotalUnicastResources	<p>MOH サーバにより許可されているユニキャスト MOH 接続の合計数を表します。</p> <p> (注) 各 MOH ユニキャスト リソースは、1 つのストリームを使用します。</p>
MOHUnicastResourceActive	<p>MOH サーバへのアクティブなユニキャスト MOH 接続の数を表します。</p> <p> (注) 各 MOH ユニキャスト リソースは、1 つのストリームを使用します。</p>
MOHUnicastResourceAvailable	<p>非アクティブで、MOH サーバで現在まだ使用可能なユニキャスト MOH 接続の合計数を表します。</p> <p> (注) 各 MOH ユニキャスト リソースは、1 つのストリームを使用します。</p>

表 C-23 Cisco MOH Device (続き)

カウンタ	カウンタの説明
MOHHighestActiveResources	MOH サーバに対して同時にアクティブである MOH 接続の最大数を表します。マルチキャスト接続とユニキャスト接続の両方が含まれています。
MOHOutOfResources	Cisco CallManager に登録されているすべての MOH サーバ上で使用可能なすべてのリソースがすでにアクティブであった場合に、Media Resource Manager が MOH リソースの割り当てを試行した回数合計数を表します。

## Cisco MTP Device

Cisco Media Termination Point (MTP) Device オブジェクトは、登録済み Cisco MTP デバイスについての情報を提供します。

**表 C-24 Cisco MTP Device**

カウンタ	カウンタの説明
OutOfResources	MTP デバイスから MTP リソースの割り当てを試行して、すべてのリソースがすでに使用中であるなどの理由で失敗した回数の合計数を表します。
ResourceActive	<p>MTP デバイスに対して現在使用中の（アクティブな）MTP リソースの数を表します。</p> <p> <b>(注)</b> 各 MTP リソースは、2つのストリームを使用します。使用中の MTP は、コールで使用するために割り当てられている 1つの MTP リソースを表します。</p>
ResourceAvailable	<p>非アクティブで、MTP デバイスに対して現在まだ使用可能な MTP リソースの合計数を表します。</p> <p> <b>(注)</b> 各 MTP リソースは、2つのストリームを使用します。使用中の MTP は、コールで使用するために割り当てられている 1つの MTP リソースを表します。</p>
ResourceTotal	MTP デバイスが提供する MTP リソースの合計数を表します。ResourceAvailable カウンタと ResourceActive カウンタの合計数と等しい数です。

## Cisco Phones

Cisco Phones オブジェクトは、ハードウェアベースのデバイスや、その他の端末デバイスの両方を含む、登録済み Cisco IP Phone の数についての情報を提供します。

**表 C-25 Cisco Phones**

カウンタ	カウンタの説明
CallsAttempted	この電話から試行されたコールの数を表します。この数は、電話がオフフックおよびオンフックになるたびに増加します。

## Cisco QSIG Features

Cisco QSIG Features オブジェクトは、自動転送およびパス変換などの、様々な Q.SIG 機能の操作についての情報を提供します。

表 C-26 Cisco QSIG Features

カウンタ	カウンタの説明
PathReplacementCompleted	発生したパス変換の成功した数を表します。パス変換は、QSIG ネットワークで使用され、コールに含まれる 2 つのエッジ PINX (PBX) 間のパスを最適化します。このカウンタは、Cisco CallManager サービス パラメータ Path Replacement Enabled が有効または無効になった場合、または Cisco CallManager サービスが再起動された場合にリセットされます。
CallDiversionByRerouteCompleted	再ルーティングの発生により成功した自動転送の数を表します。再ルーティングによる自動転送は、転送されるコールのパスを、発信元の観点から可能な限り最適化します (使用中の B チャネルの数を最小化します)。このカウンタは、Cisco CallManager サービス パラメータ Call Diversion by Reroute Enabled が有効または無効になった場合、または Cisco CallManager サービスが再起動された場合にリセットされます。

# Cisco SIP

Cisco Session Initiation Protocol (SIP) オブジェクトは、設定済み SIP デバイスについての情報を提供します。

**表 C-27 Cisco SIP**

カウンタ	カウンタの説明
CallsActive	この SIP デバイス上で現在アクティブな（使用中の）コール数を表します。
CallsAttempted	SIP デバイス上で試行されたコール数を表します。成功したコールの試行と失敗したコールの試行の両方が含まれます。
CallsCompleted	SIP デバイスから実際に接続された（音声パスが確立された）コール数を表します。この数は、コールが終了したときに増加します。
CallsInProgress	SIP デバイス上で現在進行中の、すべてのアクティブコールを含むコール数を表します。進行中のすべての音声コールが接続されたときに、CallsInProgress の数は CallsActive の数と等しくなります。

## Cisco SW Conf Bridge Device

Cisco SW Conference Bridge Device オブジェクトは、登録済み Cisco Conference Bridge デバイスについての情報を提供します。

表 C-28 Cisco SW Conf Bridge Device

カウンタ	カウンタの説明
OutOfResources	SW 会議デバイスから会議リソースの割り当てを試行して、すべてのリソースがすでに使用中であるなどの理由で失敗した回数の合計数を表します。
ResourceActive	SW 会議デバイスに対して現在使用中の（アクティブな）リソースの数を表します。
ResourceAvailable	非アクティブで、SW 会議デバイスで現在まだ使用可能なリソースの合計数を表します。
ResourceTotal	SW 会議デバイスが提供する会議リソースの合計数を表します。ResourceAvailable カウンタと ResourceActive カウンタの合計数と等しい数です。
SWConferenceActive	SW 会議デバイス上で現在アクティブな（使用中の）ソフトウェアベースの会議の数を表します。
SWConferenceCompleted	SW 会議デバイス上に割り当てられ、解放された会議の合計数を表します。会議は、最初のコールがブリッジに接続されたときに開始します。会議は、最後のコールがブリッジから接続解除されたときに完了します。

## Cisco TcdSrv

Cisco TcdSrv (Telephony Call Dispatcher サービス) オブジェクトは、Cisco CallManager Attendant Console についての情報を提供します。

表 C-29 Cisco TcdSrv

カウンタ	カウンタの説明
CallsActive	 <p>(注) このカウンタは使用しないでください。このカウンタの情報は、アクティブなコールの合計数を正確に反映していない場合があります。</p>
CallsRedirected	TCD サービスに対して転送されたコールの合計数を表します。この数は、パイロットポイントがコールを受信し、そのコールをハント グループのメンバーに転送するたびに増加します。
CallsTotal	TCD サービスの開始以降に発信されたすべてのコールの合計数を表します。
CcmLineLinkState	回線の状態を表します。値には、0、1、10、または 11 が含まれます。値 0 は、TCD サービスが登録されていないこと、または Cisco CallManager から回線リンク状態情報を受信していないことを示します。値 1 は、TCD サービスが登録されており、Cisco CallManager から回線リンク状態情報を受信していることを示します。値 10 は、TCD サービスが CTI にログインしているが登録されていないこと、または Cisco CallManager から回線リンク状態情報を受信していないことを示します。値 11 は、TCD サービスが CTI にログインして登録されており、回線リンク状態情報を受信していることを示します。
ClientsRegistered	TCD サービスに対して登録されたクライアントの合計数を表します。この数は、クライアントアプリケーションがログインしたとき、Cisco CallManager Attendant Console が新しく登録されるたびに 1 つずつ増加します。

表 C-29 Cisco TcdSrv (続き)

カウンタ	カウンタの説明
ClientsOnline	現在オンラインである Cisco CallManager Attendant Console クライアントの合計数を表します。Attendant Console クライアントには、現在オンラインである Cisco CallManager Administration の Attendant Console User Configuration 画面で設定されているすべてのユーザが含まれます。この数は、各クライアントがオンラインになるたびに1つずつ増加し、各クライアントがオフラインになるたびに1つずつ減少します。
ClientsTotal	現在 TCD サービスに登録されている Cisco CallManager Attendant Console クライアントの合計数を表します。Attendant Console クライアントは、Cisco CallManager Administration の Attendant Console User Configuration 画面で設定されているすべてのユーザを表します。
HeartBeat	TCD サービスのハートビートを表します。この増分カウンタは、TCD サービスが稼働中であることを示します。カウンタが増加しない場合は、サービスがダウンしていることを意味しています。
LinesActive	 (注) このカウンタは使用しないでください。このカウンタの情報は、アクティブな回線の合計数を正確に反映していない場合があります。
LinesIdle	 (注) このカウンタは使用しないでください。このカウンタの情報は、アイドル回線の合計数を正確に反映していない場合があります。
LinesTotal	 (注) このカウンタは使用しないでください。このカウンタの情報は、回線の合計数を正確に反映していない場合があります。
PilotPointsTotal	Cisco CallManager に設定されているパイロット ポイントの合計数を表します。

表 C-29 Cisco TcdSrv (続き)

カウンタ	カウンタの説明
StartTime	TCD サービスが開始されてからの時間をミリ秒単位で表します。コンピュータ内のリアルタイム クロックは、現在の時刻と経過した時間をミリ秒単位で示す単なる参照ポイントです。開始されたサービスでこの時刻の基準が提供されるためです。参照ポイントは、1970 年 1 月 1 日の午前 0 時です。
Version	TCD サービスのバージョンを表します。

# Cisco TFTP Server

Cisco Trivial File Transfer Protocol (TFTP) Server オブジェクトは、Cisco TFTP サーバについての情報を提供します。

表 C-30 Cisco TFTP Server

カウンタ	カウンタの説明
BuildCount	TFTP サービスが開始されてからの、すべてのデバイスに影響するデータベース変更通知に対応して TFTP サーバがすべての設定ファイルを作成した回数を表示します。このカウンタは、すべての設定ファイルが新しく作成されるたびに1つずつ増加します。
BuildDeviceCount	すべての設定ファイルの最後の作成で処理されたデバイスの数を表示します。このカウンタは、デバイス変更通知の処理中にも更新されます。このカウンタは、新しいデバイスが追加されたときに増加し、既存のデバイスが削除されたときに減少します。
BuildDuration	すべての設定ファイルの最後の作成に要した時間を秒単位で表示します。
BuildSignCount	セキュリティ対応の電話機デバイスの数を表示します。この電話機の設定ファイルはすべての設定ファイルの最後の作成の Cisco CallManager サーバ キーでデジタル署名されています。このカウンタは、セキュリティ対応の電話機デバイスの、変更通知の処理中にも更新されます。
BuildUnitCount	すべての設定ファイルの最後の作成で処理されたゲートウェイの数を表示します。このカウンタは、ユニット変更通知の処理中にも更新されます。このカウンタは、新しいゲートウェイが追加されたときに増加し、既存のゲートウェイが削除されたときに減少します。
ChangeNotifications	TFTP サーバが受信したすべての Cisco CallManager データベース変更通知の合計数を表示します。Cisco CallManager Administration でデバイス設定が更新されるたびに、TFTP サーバはデータベース変更通知を送信し、更新されたデバイス用の XML ファイルを再作成します。

表 C-30 Cisco TFTP Server (続き)

カウンタ	カウンタの説明
DeviceChangeNotifications	TFTP サーバがデータベース変更通知を受信して、デバイスの設定ファイルの作成、更新、削除を行った回数を表示します。
HeartBeat	TFTP サービスのハートビートを表示します。この増分カウンタは、TFTP サーバが稼働中であることを示します。カウンタが増加しない場合は、TFTP サーバがダウンしていることを意味しています。
Requests  (注) 以前は TFTPRequests と呼ばれていました。	TFTP サーバが処理したファイル要求 (XML 設定ファイル、電話ファームウェア ファイル、オーディオ ファイルなどに対する要求) の合計数を表します。このカウンタは、TFTP サービス開始以降の RequestsProcessed、RequestsNotFound、RequestsOverflow、RequestsAborted、RequestsInProgress の各カウンタの合計数を表します。
RequestsAborted  (注) 以前は TFTPRequestsAborted と呼ばれていました。	TFTP サーバが予期せず取り消した (中止した) TFTP 要求の合計数を表します。要求側デバイスが到達できない (たとえば、装置の電源が入っていない) 場合や、ネットワーク接続の問題によりファイル転送が中断された場合は、要求が中断される可能性があります。
RequestsInProgress	TFTP サーバが現在処理しているファイル要求の数を表します。このカウンタは、新しいファイル要求のたびに増加し、ファイル要求が完了するたびに減少します。このカウンタは、TFTP サーバの現在の負荷を示します。
RequestsNotFound  (注) 以前は TFTPRequestsNotFound と呼ばれていました。	要求されたファイルが検出されなかった場合の TFTP 要求の合計数を表します。TFTP サーバが要求ファイルを検出しない場合、エラー メッセージが要求側デバイスに送信されません。
RequestsOverflow  (注) 以前は TFTPRequestsOverflow と呼ばれていました。	許容されるクライアント接続の最大数を超過したために拒否された TFTP 要求、TFTP サーバが設定ファイルを作成中に要求を受信したために拒否された TFTP 要求、または他のリソースの制限により拒否された TFTP 要求の合計数を表します。Cisco TFTP 拡張サービス パラメータ Maximum Serving Count は、許容される接続の最大数を設定します。

表 C-30 Cisco TFTP Server (続き)

カウンタ	カウンタの説明
RequestsProcessed  (注) 以前は TFTPRequestsProcessed と呼ばれていました。	TFTP サーバが正常に処理した TFTP 要求の合計数を表します。
SegmentsAcknowledged	クライアント デバイスが確認応答したデータ セグメントの合計数を表します。ファイルは、512 バイトのデータ セグメントで要求側デバイスに送信されます。512 バイトの各セグメントに対して、デバイスは TFTP サーバに確認応答メッセージを送信します。追加の各データ セグメントは、先行データ セグメントの確認応答の受信時に、ファイル全体が要求側デバイスに正常に転送されるまで送信されます。
SegmentSent	TFTP サーバが送信したデータ セグメントの合計数を表します。ファイルは、512 バイトのデータ セグメントで要求側デバイスに送信されます。
UnitChangeNotifications	TFTP サーバがデータベース変更通知を受信して、ゲートウェイ関連の設定ファイルの作成、更新、削除を行った回数を表示します。

## Cisco Transcode Device

Cisco Transcode Device オブジェクトは、登録済み Cisco トランスコーディング デバイスについての情報を提供します。

表 C-31 Cisco Transcode Device

カウンタ	カウンタの説明
OutOfResources	トランスコーダ デバイスからトランスコーダ リソースの割り当てを試行して、すべてのリソースがすでに使用中であるなどの理由で失敗した回数の合計数を表します。
ResourceActive	トランスコーダ デバイスに対して現在使用中の（アクティブな）トランスコーダ リソースの数を表します。  <b>(注)</b> 各トランスコーダ リソースは、2つのストリームを使用します。
ResourceAvailable	非アクティブで、トランスコーダ デバイスで現在まだ使用可能なリソースの合計数を表します。  <b>(注)</b> 各トランスコーダ リソースは、2つのストリームを使用します。
ResourceTotal	トランスコーダ デバイスが提供したトランスコーダ リソースの合計数を表します。ResourceActive カウンタと ResourceAvailable のカウンタの合計数と等しい数です。

## Cisco Video Conference Bridge

Cisco Video Conference Bridge オブジェクトは、登録済み Cisco ビデオ Conference Bridge デバイスについての情報を提供します。

表 C-32 Cisco Video Conference Bridge

カウンタ	カウンタの説明
ConferenceActive	ビデオ Conference Bridge デバイス上で現在アクティブな（使用中の）会議の合計数を表します。システムにより、最初のコールがブリッジに接続されたときに会議がアクティブになるよう指定されています。
ConferenceAvailable	非アクティブで、テレビ会議デバイス上で現在まだ使用可能なテレビ会議の数を表します。
ConferenceCompleted	テレビ会議デバイス上に割り当てられ、解放された会議の合計数を表します。会議は、最初のコールがブリッジに接続されたときに開始します。会議は、最後のコールがブリッジから接続解除されたときに完了します。
ConferenceTotal	テレビ会議デバイスに対して設定されているテレビ会議の合計数を表します。
OutOfConferences	テレビ会議デバイスからテレビ会議の開始を試行して、許可されているアクティブな会議の最大数（TotalConferences カウンタで指定）をデバイスがすでに使用しているために失敗した回数の合計数を表します。
OutOfResources	テレビ会議デバイスから会議リソースの割り当てを試行して、すべてのリソースがすでに使用中であるなどの理由で失敗した回数の合計数を表します。
ResourceActive	ビデオ Conference Bridge デバイス上で現在アクティブな（使用中の）リソースの合計数を表します。参加者 1 名につき、1 つのリソースが使用されます。
ResourceAvailable	非アクティブで、Conference Bridge デバイスへの追加の参加者を処理するデバイスで現在まだ使用可能なリソースの合計数を表します。

表 C-32 Cisco Video Conference Bridge (続き)

カウンタ	カウンタの説明
ResourceTotal	ビデオ Conference Bridge デバイス上に設定されているリソースの合計数を表します。参加者 1 名につき、1 つのリソースが使用されます。

## Cisco WebDialer

Cisco WebDialer オブジェクトは、Cisco WebDialer アプリケーションと Redirector servlet についての情報を提供します。

表 C-33 Cisco WebDialer

カウンタ	カウンタの説明
CallsCompleted	Cisco WebDialer アプリケーションが正常に完了した Make Call 要求と End Call 要求の数を表します。
CallsFailed	失敗した Make Call 要求と End Call 要求の数を表します。
RedirectorSessionsHandled	最後にサービスが開始されてから Redirector servlet が処理した HTTP セッションの合計数を表します。
RedirectorSessionsInProgress	現在 Redirector servlet によりサービスが行われている HTTP セッションの数を表します。
SessionsHandled	最後にサービスが開始されてから Cisco WebDialer servlet が処理した CTI セッションの合計数を表します。
SessionsInProgress	現在 Cisco WebDialer servlet によりサービスが行われている CTI セッションの数を表します。

## 参考情報

### 関連項目

- [第 1 章「概要」](#)
- [第 2 章「パフォーマンス オブジェクトとパフォーマンス カウンタ」](#)
- [第 9 章「Real-Time Monitoring ツール」](#)
- [第 12 章「Microsoft Performance」](#)
- 『Cisco CallManager Serviceability アドミニストレーション ガイド』の第 12 章「Real-Time Monitoring の設定」
- 『Cisco CallManager Serviceability アドミニストレーション ガイド』の第 23 章「Microsoft Performance」

